

発表者2

まきの ジャンノン



● 出身・ルーツ

ミャンマー

● 日本に来たのはいつ？

2011年3月

● 日本語を勉強している期間は？

3年間

● 発表者コメント

私は、人の前で話すのが苦手なのでドキドキしますが、みなさんに私の国のことをしてもらいたいと思い、出場することにしました。勇気を持ってがんばります。

● 推薦者コメント 【神奈川県立横浜修悠館高校 井上恭宏 先生】

夜間中学で学び、県立横浜修悠館高校に入学したジャンノンさん。日本語はもちろん、教科の学習に対する学ぶ意欲には目を見張るものがあります。素晴らしいスピーチになるはずですよ。

スピーチタイトル 「晩ご飯と忘れ物」

みなさん、こんにちは。

ミャンマー出身の牧野ジャンノンと申します。私が生まれたのは、ミャンマーの東部、タイとの国境に近いワンコンムンという小さな村です。

家族は7人。大家族で、いつもにぎやかに暮らしていました。

4年前、私は日本人の男性と結婚したので日本へ来ました。

日本へ来てからは、驚くことばかりでした。

私が育った村では、みんなが顔見知り、村全体がまるで一つの家族のように暮らしています。

たとえば昼間は暑いので、高床式の家の下に、大人も子どもも集まって、おしゃべりし

たり、おやつを食べたりして過ごします。夜になって、晩ごはんが足りなくなると、隣の家にもらいに借りに行くこともあります。

「ご飯、残っている？」「残ってるよ。」「もらっていいよ？」「いいよ」

こんな感じです。

でも日本へ来てからは、昼間はほとんど一人で過ごしています。

マンションに住んでいるのですが、隣の人とはまだ一度も話したことがありません。

人の家を訪ねる時も、日本では必ず電話をしてから行くのがマナーだと言われました。

ミャンマーではバスの中でも、知らない人とよくおしゃべりをします。

「どこいくの？」とか「何しに行くの？」  
とか。

でも日本では知らない人には、あまり話し  
かけませんね。

そんな日本での生活が、はじめはとてもさ  
びしかったです。

1年たって、日本語学校と、夜間中学校に  
も通い始めました。

夜間中学では友達もでき、日本の生活にも  
少しずつ慣れてきました。

ある日、学校へ行く時、電車に乗って、網棚  
の上にかばんを置きました。

ところが、横浜駅で降りたとき、そのかば  
んを忘れたことに気が付きました。

かばんの中には財布やテキストなど大事な  
ものが入っています。

すぐに駅員さんに話しました。

すると駅員さんは「ここで待っていてくだ  
さい。その電車はまた戻ってきますから。」と  
言いました。

私は「本当に、私のかばんも、戻ってく  
るの？」と不安でした。

1時間ぐらい待ったのでしょうか。

駅員さんがこちらへ歩いて来るのが見えま  
した。

手には、私のかばんを持っています。

本当にびっくりしました。そして感動しま  
した。

私の国だったら、忘れ物は絶対に戻ってき  
ません。

ミャンマーでは、みんなが働けるわけでは  
なく、仕事がなくってお金に困っている人がた  
くさんいます。

ですから忘れ物をしたら、もう戻って来な  
いのです。

そんな時、人々は「物がなくなるのは運が悪  
いからだ」と考えて、お寺に厄払いに行っ  
たりします。

このように日本とミャンマーとは違うと  
ころがたくさんあります。

ミャンマーは貧しい国ですが、周りの人と  
助け合って暮らしています。

日本はマナーが良くて安全ですが、人と人  
はつながりにくく感じます。

どの国でも、良いところと悪いところがあ  
ります。

でも一番大切なのは、「相手を思いやる気も  
ち」だと思います。

電車で忘れ物をしたあと、私も道で定期  
券と携帯電話を拾ったことがあります。

大事なものをなくした人の気持ちがよくわ  
かりますから、すぐ交番に届けました。

思いやりの心が、回り回って、よい社会を  
作っていくのだと思います。

私は今、横浜修悠館高校に通っています。

高校に入って初めて日本人の友だちがで  
きました。

日本人だけでなく、フィリピン、スリラン  
カ、ブラジルをルーツに持つ友だちもいます。

みんなやさしくていい人たちです。

習慣や考え方が違って、思いやりの気  
持ちを大切に、これからも、楽しく幸せに暮  
らしていきたいと思っています。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- 前をしっかり見て話す姿がとてもすてきです。話すはやさがちょうどいいです。とても聞きやすいと思いました。
- これからもマンマーと日本のよいところをたくさんみつけて、おもいやりの心をもみんなに広げて下さい。(すとう)
- マンマーの温かいすてきな文化を知ることができました。日本の良さを見つけてくださり、嬉しく思います。日本で幸せに暮らしてください。(柴田)
- 思いやりの気持ちを大切にしようと思いました。文化の違い、マンマーのことも知ることができました。(高橋)
- 学校で友達ができよかったですね。友達を大切に、仲よくしてくださいね。
- すてきな話をありがとう。自分の生活を私も考えさせられました。(イクタ)
- あなたの話を聞いて、私もマンマーに行ってみたいと思いました。マンマーの温かい国民性は素晴らしいと思います。I stayed Mississippi for a year as exchange student. People were really nice as you told us today! (木村)
- 日本も少し前まではおとなりにお米やお正油などかりに行ったりして助け合っていたので、とてもよくわかりました。
- マンマーの様子がよくわかりました。すてきなおはなしでした。(山本)
- マンマーの文化はうらやましい気がしました。私の子どもの頃はマンマーのような感じでした。忘れ物が戻ってくるのはあたり前だと思っていましたが、日本は良いところだと再認識しました。(加藤)
- マンマーと日本の文化の違いの中で、たくましく生きているジャンノンさんの力が伝わってきました。(佐々木)
- 忘れ物が戻ってくることで感動しますよね。これから思いやりがあるジャンノンさんでいてください。
- とてもいいいなにほんご、べんきょうをがんばっていらっしゃるのが、よくわかります!(つだ)
- 村のみんなが家族として暮らしていたのはとてもステキなことと思います。日本も昔のようにそういうところ取り戻してもらいたいです。スピーチ、全部暗記してすごいです。電車で忘れたカバン戻ってきてよかったです。私も何度も置き忘れたりしますが、必ずみつけて戻ってきます。思いやりの心、本当にその通りとおもいます。